

資料No.10

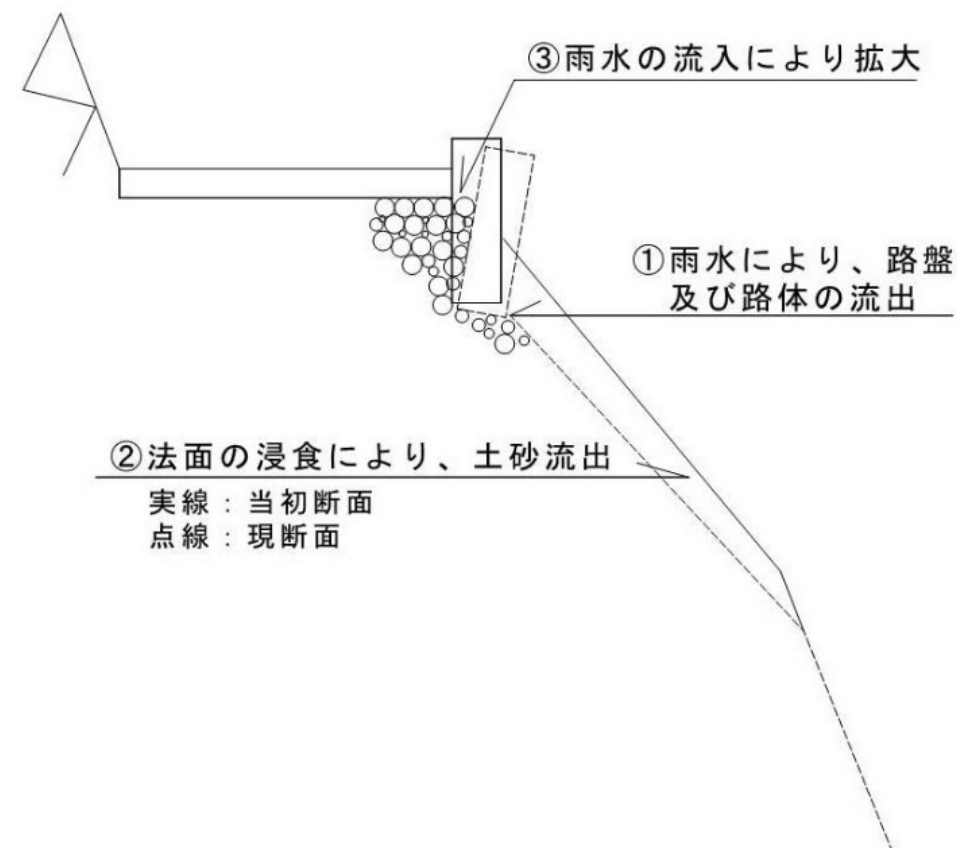
宮上9号農道整備事業について

1 現況

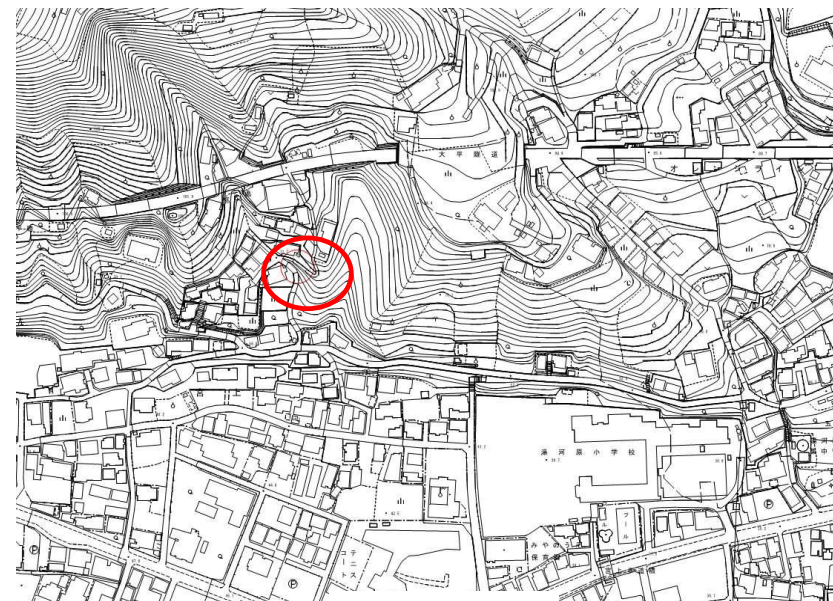
湯河原小学校の北西200mに位置する宮上9号農道において、道路面と擁壁の隙間が数センチはなれ（令和元年度）、雨水が入らない様にモルタルにて補修を行った。その後、2年間で数センチ開いた際にも同様に補修対応をしていたが、令和6年度の台風後に15cmに広がったことから、大きな災害となる前に対応が必要と判断し、現地調査を行った。

現地調査及び地質調査の結果から、ブロック積法面からの雨水が、道路面と擁壁の隙間から流入したことで①路盤（碎石）及び路体（地山）の流出となり、擁壁下部の②法面の浸食により土砂流失が発生し、③さらに雨水の流入量が増えたことにより路盤及び路体の流出が増え、道路面の支持力が低下し、沈下が起こった。沈下により、さらに道路面と擁壁の隙間が広がり損傷が進行している状況。

断面図



位置図



現況写真



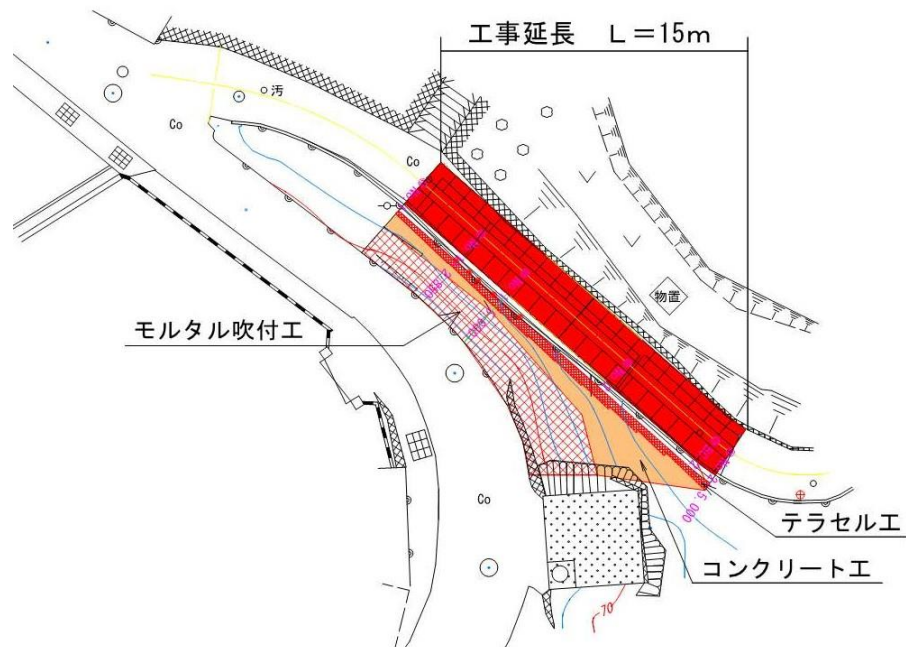
現況写真



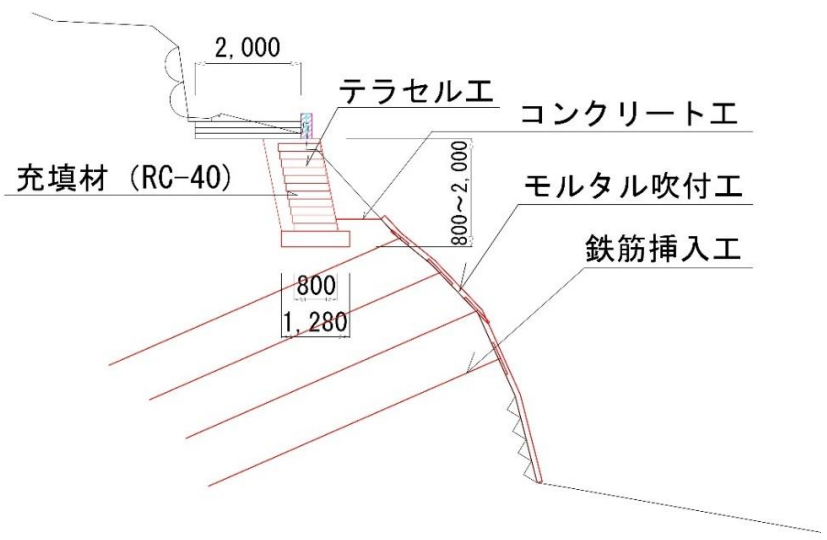
2 今後の対応方法

隣接地に影響が出ない様、掘削量を減らす為、地山法面をモルタル吹付工及び鉄筋挿入工（グリーンパネル）にて、法面を補強し、既設擁壁に代わり、テラセル工（断面図参照）での施工を行い、道路部の復旧を行う予定

平面図



断面図



テラセル工



鉄筋挿入工（グリーンパネル）

3 スケジュール（案）

令和7年6月	環境・観光産業常任委員会に報告
9月	補正予算提出
9月末	入札
10月	業者決定
12月	工事開始
令和8年3月	工事完了

